さいたま市立桜木中学校　学校だより　　第　６　号　令和８年９月３０日　発行

さくらぎ

〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町４－２１９
ＴＥＬ　０４８－６４１－０４５９
ＦＡＸ　０４８－６４５－４５８４
E-mail　sakuragi-j@saitama-city.ed.jp

～未来の桜よ咲きほこれ　８０年の思いを幹に～

「秋の歩みを見守りながら 」
～学びの連なりが未来へ続くことを願って～

校　長　　森角　由希子

秋の気配がゆっくりと濃くなり、校庭の木々も少しずつ色を深めています。今年度の教育実習も、前期・後期あわせて９名の受け入れを終えました。本校の規模を考えると多い人数ですが、それでも教職の道を選びたいと願い、子どもたちの前に立とうとしてくれる若い世代がいることを思うと、胸の内に静かな喜びが広がります。教育実習の受け入れは、本校卒業生の意欲と、職員の後進育成への思いに支えられているものです。

今年度は、私自身にとっても忘れがたい出会いがありました。かつて上小小学校で教頭として勤務していた頃の児童が、教育実習生として本校に来てくれたのです。小学生だった彼らが成長し、教職を志して実習に臨む姿を目の前にすると、時の流れがそっと肩に触れるような、温かい感慨がありました。また、折に触れ、保護者や地域の方から「上小小学校の教頭先生でしたよね」と声を掛けていただく場面もあり、教育という営みが、年月を超えて人と人をつないでくれることを改めて感じました。

思い返せば、私自身が教職の道を選ぶ決め手となったのも「教育実習」での経験でした。高校での２週間の教育実習は“音楽”の授業づくりに向き合う日々で、教材研究に追われながらも、生徒と音楽を分かち合う時間は、今も心に残る大切な記憶です。研究授業には大学の先生や高校時代の恩師、同級生など多くの方が参観に来てくださり、研究協議の場は同窓会のような温かさに満ちていました。生徒が書いてくれた感想には励ましだけでなく、生徒ならではの視点が記されており、私の教職の姿勢を支えてくれる宝物となっています。

その実習の中で私は、音楽が「一人で楽しむもの」であると同時に、「誰かと響きを分かち合うことで、より深く心に届くものになる」ことを実感しました。あの気付きは、今の私の“学校観”にもつながっています。学びも、成長も、人とのつながりの中で豊かさを増していくものなのだと感じます。教育実習を経験した若い世代が、いつか、さいたま市の教員として現場に立ち、またどこかで再会できる日を楽しみにしています。

